

夢中熱中青春ライフ!

20

高村ヒマ人会

家にこもって一人であるよりは、みんなが集まって何かをしているのって楽しいですね。今回は、地域の高齢者たちが集まり、和気あいあいとしめ飾り作りに精を出している、二井田地区の高村ヒマ人会の皆さんをご紹介します。高村白寿会館を訪ね、代表の伊藤正一さんからお話を伺いました。

自分たちで

できることを

会ができたのは、昭和五十二年でしたかね。高村白寿会という老人クラブの有志四、五人が、自分たちでできることをと集まって彼岸花を作り始めたのがきっかけです。会員は多い時で十



流れ作業で丁寧に仕上げられています

今は、彼岸花のほかにしめ飾りとしめ縄も作っています。一時はかこべ（かこ）やみも作りましたね。しめ飾りは、市内の老人クラブを対象に、昭和五十六年に獅子ヶ森にある老人いこの家で開催された講習会に参加してから作り始めました。また、しめ縄は、高村神社の鳥居にしめ縄がなくて寂しかったことから作って奉納し始めたんです。確か五十七年からだったと思います。今は、二井田八幡神社と大館神明社のしめ縄も作っています。



会員の皆さんです。2列目左端が代表の伊藤さん

親ぼくと

老け防止に

作業は、月曜日を除いた毎日、高村白寿会館でやっています。毎年、十一月中旬から十二月中旬まではしめ飾り作り、これが終わってからはしめ縄を作ります。年が明けると、二月から三月初旬まで彼岸花を作っています。作ったのは、二井田地区の人に買ってもらっています。そのお金でこれまでに高村神社へ墓やのぼり、石碑などを奉納しています。また、会員をろって温泉や旅行などへ行くときの費用の一部にあてています。作業は年々かはかどらなくなってきましたが、会員のみんなは世間話をするのが楽しみで集まっています。それに何かしらないと早く老けますからね。

横浜発 → 大館着

前略

大館市民になりました

21

☆今回は水門町の松坂雄治さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか?

妻と子供三人の五人です。上の子は桂城小学校の一年生、中の子は大館ホテヤ幼稚園の年中組、下の子は二歳で、みんな女の子なんです。

Q・どちらから転入されましたか?

横浜市から今年の三月に来ました。私は山形県金山町の出身で、妻は大館なんです。田舎で暮らしたくなつて妻の実家に帰ってきたんです。

Q・大館市の印象はいかがですか?

都会から来たせい、商店街には人通りが少ないし、お店は午後七時で閉めるので寂しい感じがしました。でも、自然に囲まれてきれいなまちですし、水と空気はおいしいですね。上の子は、年に三、四回ぜん息の発作を起こしてはいますが、こちらに来てからまだ一度も起こしていませんよ。

Q・言葉や食べ物などはどうですか?

食べ物では特にはないです。言葉は、お年寄りとの会話の中で分からないのがあって、二、三カ月はとまどいましたね。

Q・大館にどんなことを望みますか?

大館に戻りたいという人のために、職場を確保するなどの環境づくりがもっと必要だと思います。また、子供連れて憩えるベンチのある広場なんか大町にあればいいですし、スケート場もあればと思います。



雄治さんと雅子さん、左から長女の恵実ちゃん、三女の知実ちゃん、三女の里実ちゃんです